



秦野市 防災事業等

「Phase Free」思想導入に向けた提案書

Adviser 消防署警備第一課 七海 廣人

Team Leader 建設総務課 加藤 俊明

Main Planner 障害福祉課 前田 卓也

Coordinator 市民活動支援課 賀美 詩織

Designer 水道施設課 小宮山 克彦

Contents

01

概要

02

「Phase Free」導入の必要性

03

先行事例

04

「Phase Free」本格導入に向けて

01

概要

「防災」と「Phase Free」ご存じですか？

「防災」とは？

定義：災害対策基本法第2条第2項

災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、及び災害の復旧を図ることをいう。

自助

自分の身は自分自身で守る

災害時は・・・

公助

国や都道府県、市町村等
による防災・減災活動

共助

地域や近隣の方が
互いに協力し合う

未然防止/予防強化

公：防災啓発活動、インフラの整備 など
民：備蓄・準備、防災訓練 など

被害拡大防止

公：情報発信、公助 など
民：自助・共助、避難所運営 など

災害復旧

公：復興支援事業、インフラ復旧 など
民：復興活動・支援 など

「Phase Free」とは？

身のまわりにあるモノやサービスを、**日常時だけでなく、非常時にも役立てる**ことができるという考え方です。

図. Phase Free 製品/サービスの例
紙コップ メジャーメント(サンナップ株式会社)



粉ミルクや米の計量などに

「Phase Free」は、
近年(2014年)に生まれた概念です。

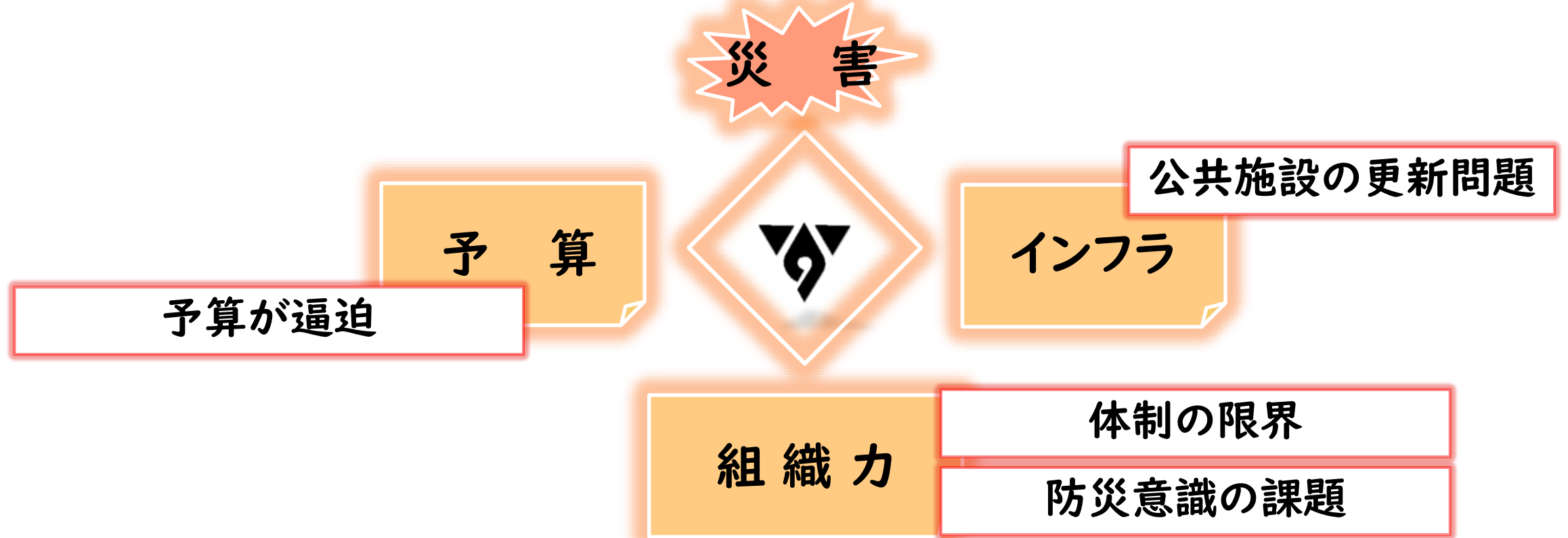
防災公園(東京都豊島区)



一時避難場所やヘリポートに

「Phase Free」の必要性

今、本市ではヒト・カネ・モノ等の様々な課題を抱えています。



防災事業においても、こうした限られた条件下で備えを考える時代です。

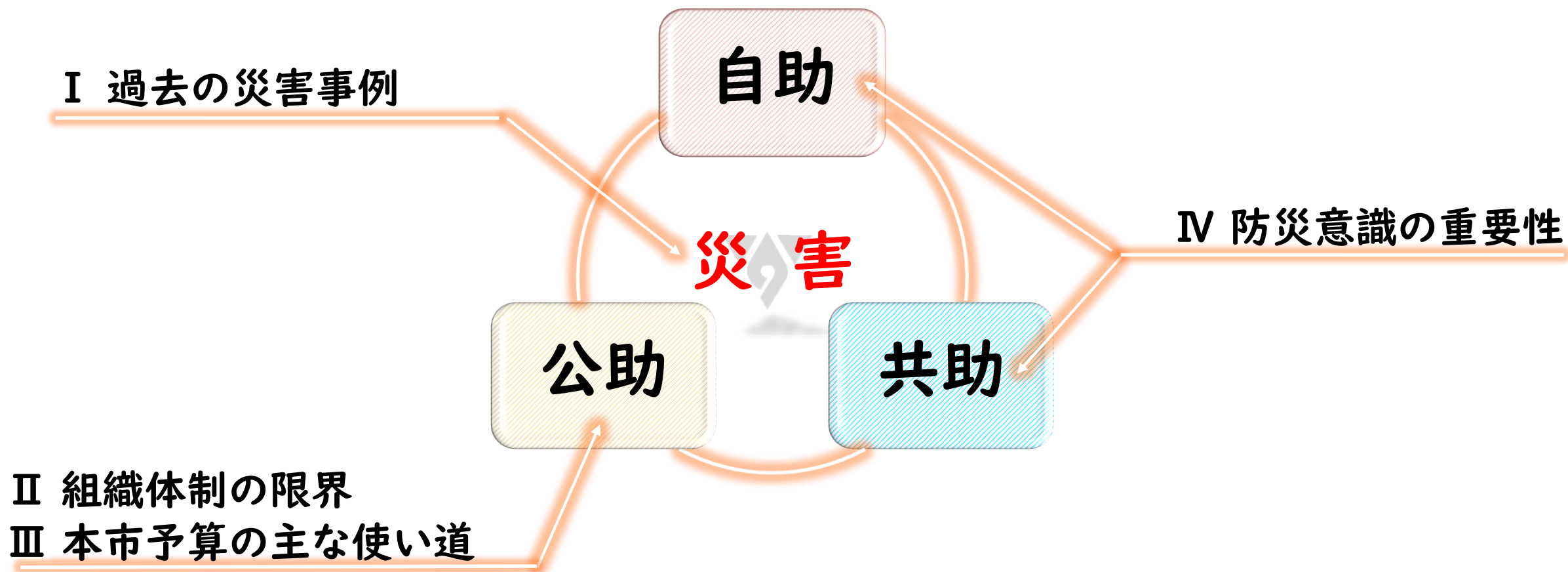
私たちは、普段の有用性と防災を考える
「Phase Free」思想の本格的な導入を提案致します。

02

「Phase Free」導入の必要性

市の主な課題と「Phase Free」の関係性

なぜ、必要なのか。主な課題を考えてみます。



I～IIIの状況から、IVの実績も考え・・・

さらなる防災意識向上に向けた取り組みが必要!

I 市内過去の被災例

災害

図. 秦野市内 被災写真

大正12年：関東大震災（四ツ角）



平成3年：台風18号（鶴巻）



平成23年：東日本大震災（鶴巻）



大正12年に発生した関東大震災では・・・

秦野市内での被害

人的被害 死者 171名、行方不明者 10名、負傷者135名

住家被害 全壊1490棟、全焼233棟 倒壊率26.16%

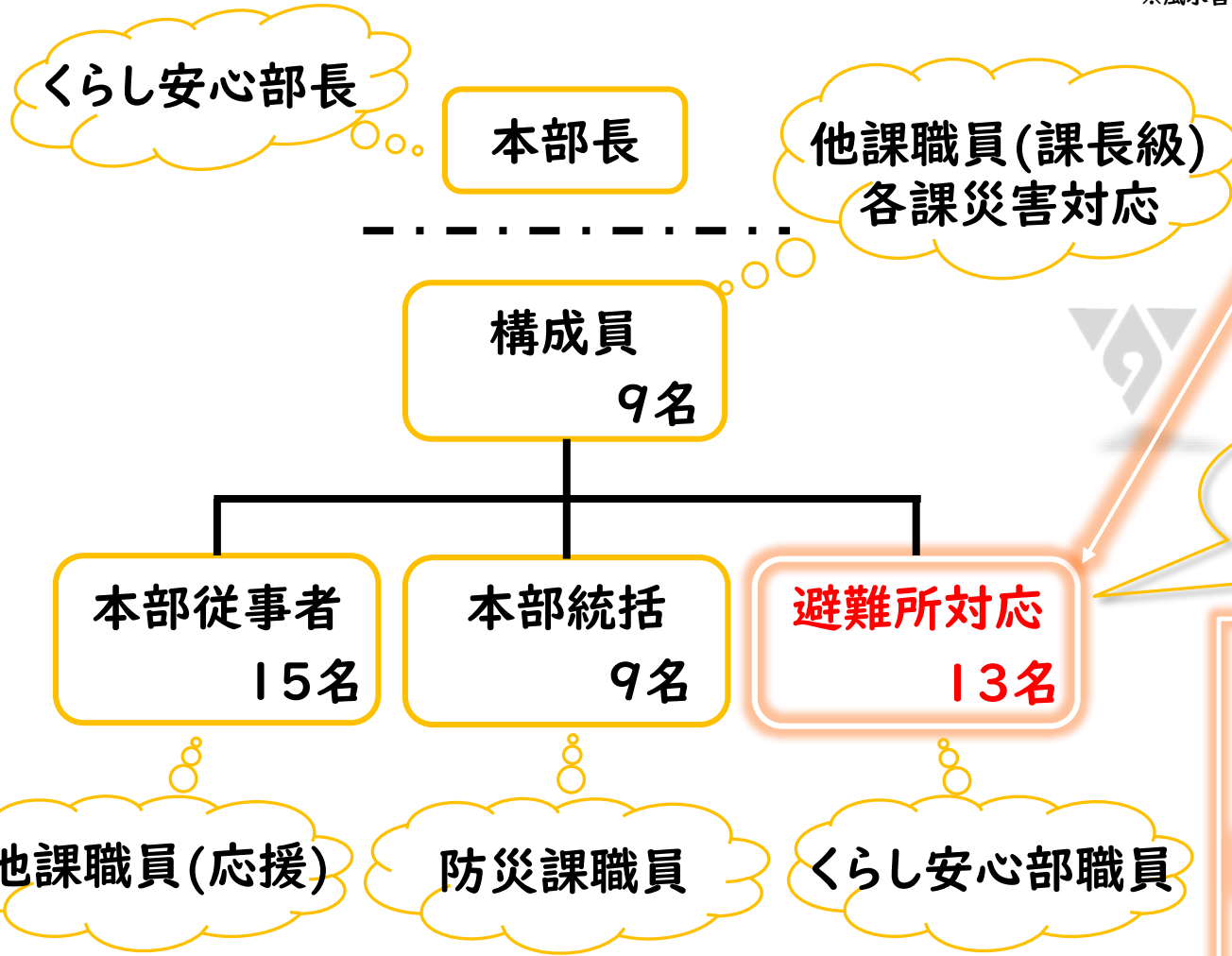
市内でも大きな災害が発生した歴史があり、他人ごとではない!

Ⅱ 本市における発災時の体制

-令和4年度 秦野市防災本部の構成について-

※風水害時 参考例

組織力



避難所への派遣職員は、

わずか13名!!

他の職員は??
他課から増員すれば?

他は、インフラの復旧や
地区配備隊(災害現場応援)で、
呼べる人員がないのです

地域住民を中心とした
避難所運営が必要不可欠!

自治会との締結済み協定数は...

2か所

Ⅲ 予算の動向

予算

図. 目的別歳出決算額構成比(秦野市 H28~R2)

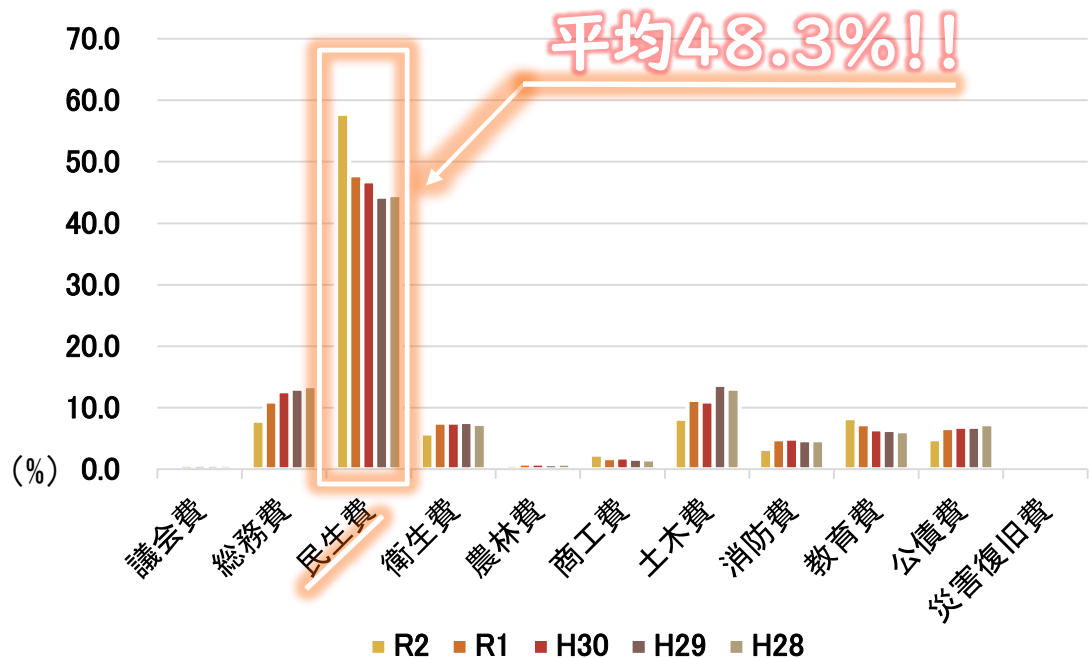
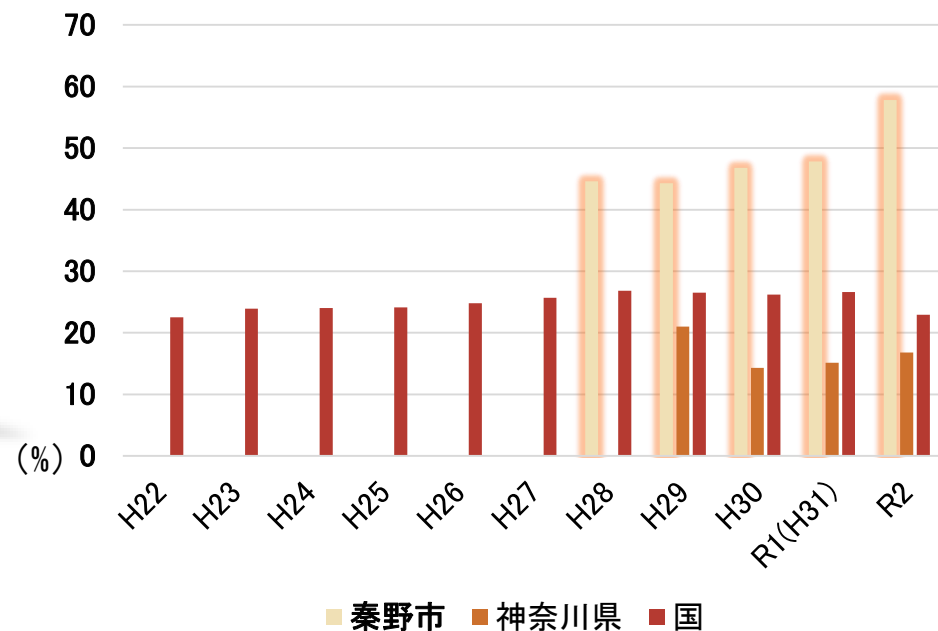


図. 民生費(決算額)の比較



本市予算のほぼ半分が民生費(福祉等)に充てられています。
 また、神奈川県や国も民生費が最も大きいですが、その構成比は3割以下で推移。

その差は明らか!!

限られた資金で防災事業へ注力・充実させるためには、
 平常時と災害時における有用性を考えるべきでないでしょうか?

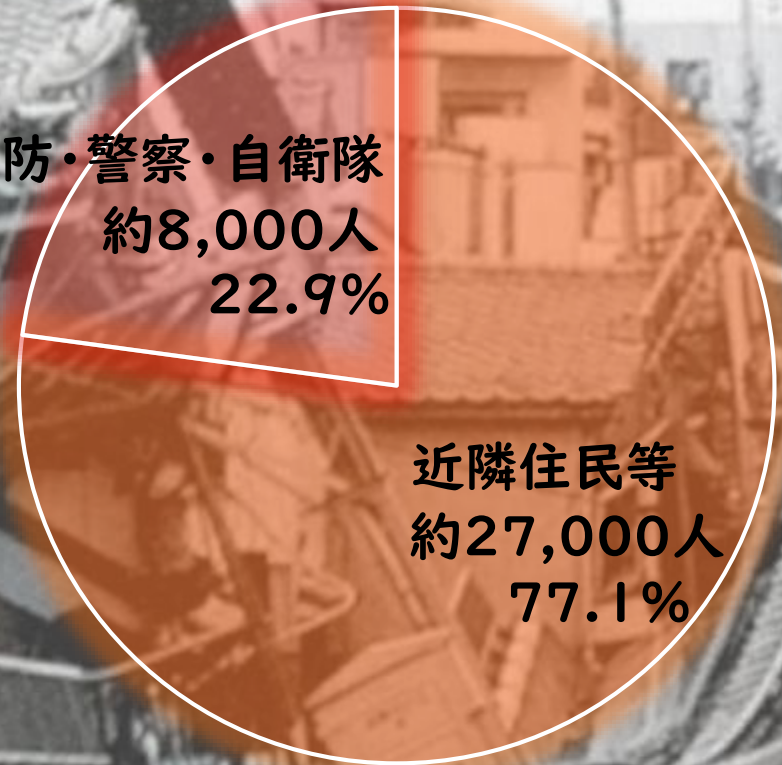
出典: 令和3年度版 統計はだの
 出典: 神奈川県HP 決算情報R2~H29(一般会計及び特別会計)
 URL: <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f8r/kessann/top.html>
 出典: 総務省HP「令和4年度版地方財政白書」
 URL: https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/hakusyo/index.html



IV 防災意識の重要性

防災意識

図.阪神・淡路大震災における救助の主体と救助者数



共助による救助が約8割

救助活動や避難所運営は地域が主体



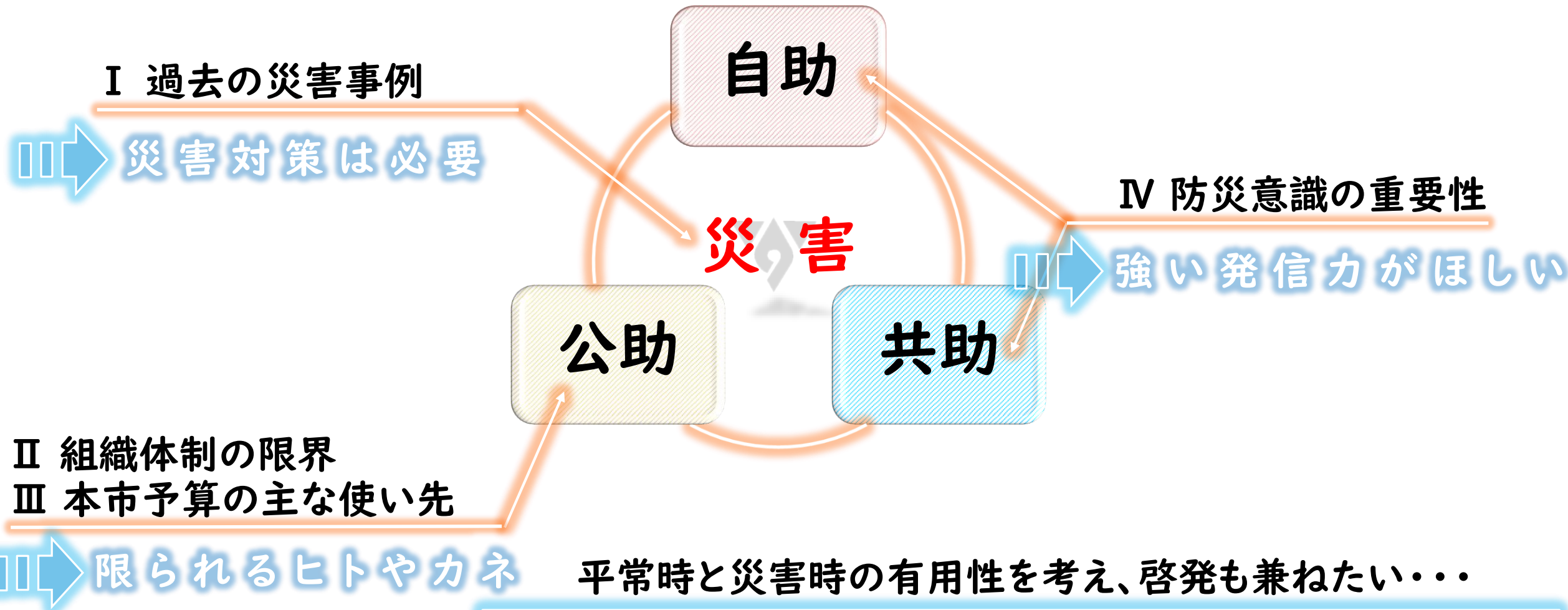
しかし・・・
限られる人手や金

防災意識の向上(防災の民主化)に
つながる**発信力**が必要!

データ出典:内閣府HP「令和4年度版防災白書」第1章
URL: <https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r4.html>

画像出典:神戸市HP-震災写真オープンデータサイト「阪神・淡路大震災[1.17の記録]」

主な課題と、「Phase Free」の関係性



「Phase Free」はピッタリな思想でないでしょうか？

03

先行事例

秦野市でも「Phase Free」の事例があります。

本市における「Phase Free」事例

本市の目玉事業でした!

図.市内ハード面による取り組み①

・お気づきの方も、いらっしゃると思います。

防災公園(東京都豊島区(冒頭で紹介))



カルチャーパーク
(陸上競技場×ヘリポート×広域避難所)



整備済み!



「Phase Free」は、2014年に生まれた概念ですが、本市カルチャーパーク再編整備構想は2010年に策定しています!

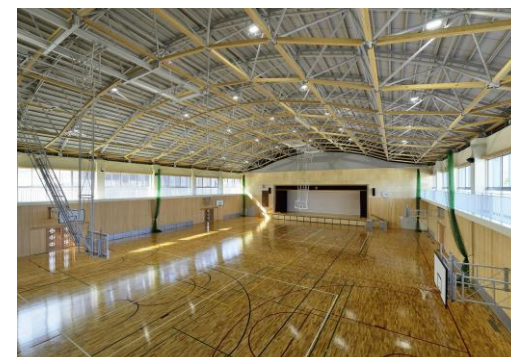
本市は先進的に、設計思想を持って継続的に取り組んでいる!
全国へ更なるアピールをしてもよいのではないのでしょうか?

本市における「Phase Free」事例

本市の目玉事業でした!

図.市内ハード面による取り組み②

市立西中学校(多機能型体育館)



体育館 + 公民館 = 西地区のコミュニティ・地域防災拠点として施設更新
 公民館・防災備蓄倉庫併設、会議室兼調理室など工夫された
 本市のフラッグシップである、公共施設再配置計画も同様です!

本市における「Phase Free」事例

図.市内ハード面による取り組み③

水道施設×応急給水拠点（例：ニタ子送水ポンプ場）



市職員でもご存じの方は、少ないのではないのでしょうか？



災害時には給水拠点として地元住民が使用できるように整備

しかし、現状は防災マップやハザードマップに記載がない・・・
概念の浸透や施設情報など、庁内もより理解する機会が必要！

04

「Phase Free」の本格導入に向けて

政策提言

「Phase Free」本格導入の目的

・何をやるの？

これまでは、ハード面による考案・取り組みが中心でした。

今後は、市として「Phase Free」を改めて認知し、ソフト面での検討や導入、ハード面ではさらなる拡充を図る。

始めは市職員が共通認識できる、きっかけから！
担当する事業で検討してみる

現在でも実施されている職員提案制度のテーマとして取り上げてみる。

「Phase Free」を採り入れたサービスで

公民共に防災意識の向上や、防災と他事業との合理化も図る！



「Phase Free」本格導入のポイント

・今までと何が違う？

新しい防災概念である「Phase Free」として発信します！

・言葉を流行らせたいだけでは？

「Phase Free」活動への参加を公に意思表示することで、民間企業との交流、災害協定の充実化に繋がる場の拡充が狙えます！

・「Phase Free」他市の参加状況は？

公園等の整備事業や教育等の事例が数件！

「市」として参加登録しているのは、全国で1市だけです！

魅力づくりとしても、絶好のチャンスでないでしょうか？

「Phase Free」本格導入に向けて

・いつから始めるの？

⇒ これまでも様々な考案がなされています！
知らなかった方も、今から防災について再認識しませんか？

・ターゲットは？

⇒ 市の政策として職員が、地域自主防災では市民が対象で
また、「Phase Free」を起点に、企業との連携も狙います！
整備やサービスを展開・改良し、公民で防災活動に臨みます。

・導入にかかる費用は？

⇒ 「Phase Free」への参加・考案に、費用は発生しません！
防災政策として、0円から始められるのは大きなメリット！

・考案するPhase Freeの事業ってどんなイメージ？

⇒ 少し、覗いてみましょう！

「Phase Free」事業の参考案①

教育×防災

-学校生活・授業の「Phase Free」化-



通常の学校生活や授業の中に、「防災」をテーマに採り上げていく

社会

まち探検 <01, 02, 05>

※生活「まちが大好きたんけんたい」等

- 自分の住んでいる地域に関心をもつとともに、どこに何があるかなどを知る。
- 地域の災害の歴史について知る。
- 将来起こりうる災害の予知に役立てるとともに、災害への備えの大切さを知る。
- 探検ルートに避難場所までの経路等を重ね、避難経路や心構えを確認をする。

算数

重さ <02, 03, 04>

※理科「てこのはたらき」等

- 重さの単位を理解すると共に、持ち運ぶ動作と合わせて体感する。
- 重さの感覚を養いながら、生活に根ざした量感を得ることができる。
- 〇kgの防災バッグを作るなどの活動へと発展させることなどもできる。

理科

流れる水のはたらき

※社会(地理分野)等 <01~04>

- 川の曲がった所、水の流れる方向、水流の速さや強さ、浸食される箇所等の特徴について知る。
- 河川災害とその予知、防災の工夫を知る。
- 地域の危険箇所、避難に適した場所を知る。

英語

I love my town. (小)

「自分の町しようかい」をしよう <01.05>

- 自分の町を紹介するポスターづくりをする。
- 外国の方に、自分の町の想定津波高や避難場所等を知らせる情報を取り入れることで、ポスター作成の必要性が増す。
- 学習後、町内の施設等に掲示して啓発とすることもできる。

※社会「私たちの住む町はどんな町」等 etc...

防災を「特別」な意識から日常的なものへ。別途で実施している、防災教育を最適化しませんか？

「Phase Free」事業の参考案②

財産×建設×防災

-公用車更新とカーボンニュートラルに「Phase Free」を-
本市でも電気自動車への取り組みが始まったところです!



非常時には移動可能な蓄電池として期待されますが、
近い将来、避難所への応援(公助)車両として
使用する体制になると想定されます!



雪害+停電が発生した場合にも対応できるよう、

・購入時に駆動方式を考える

→僻地や雪道走行を想定し、一般にリヤ駆動は採用を控える、建設系車両はこれまで同様AWDを検討するなど

・移行期間に採用するハイブリッド車の長所にも注目 など

→寒冷地における蓄電池機能低下に対する予防線として

非常時における車両の在り方も検討しませんか?

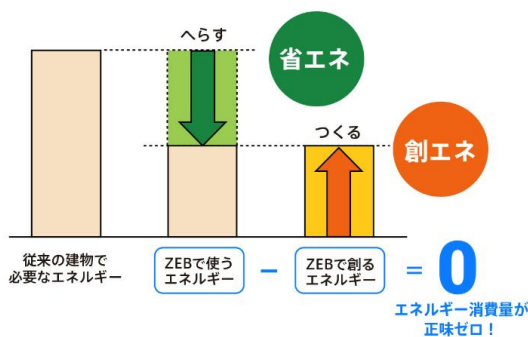
「Phase Free」事業の参考案③

公共施設再配置×建築×環境×防災

-公共施設再配置とカーボンニュートラル、Phase Freeの同時実現-

公共施設の更新・統廃合に伴い、建替える建築物にZEB化を検討してみては？

ZEB(ゼブ): Net Zero Energy Buildingの略



開成町も
庁舎をZEB化!

「ZEB」に「Phase Free」・・・話が飛躍してるし関係ないでしょ!!



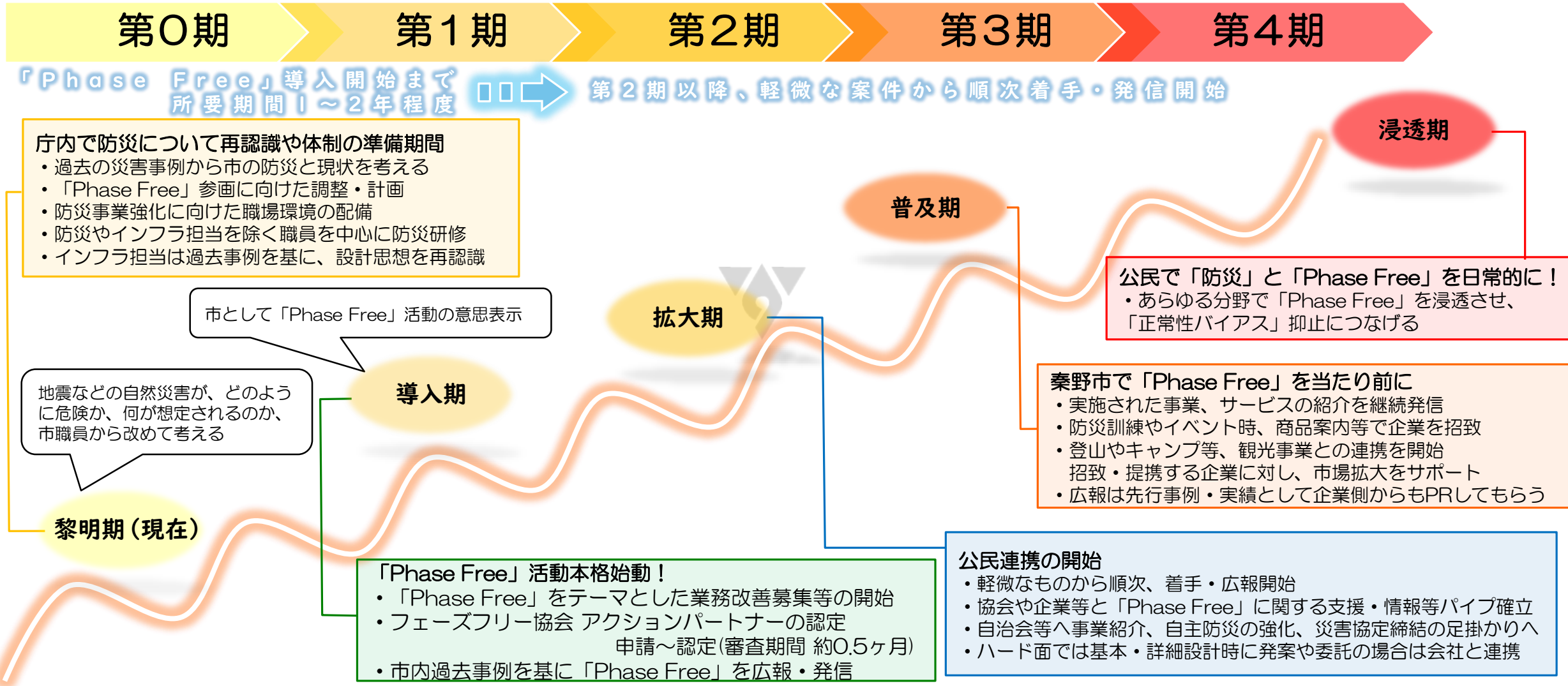
そんなことはありません!

環境省の事業より、R3～R7で補助金もあります!(EVも対象!)

環境省事業「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」

現時点では連想しづらいからこそ、庁内から「防災」に対する意思改革が必要なのです!

ロードマップ



効果と費用対効果

- ・庁内では、職員が担当事業から「Phase Free」を介することで、市の課題に対して合理的・広い視野で考えるきっかけにつながります！
- ・民間企業との交流、災害協定の充実化、広報支援の機会が
つくれます！
- ・市民、自治会へは自主防災に向けた足掛かりにつながります！

「防災」は起きるかもわからない「災害」に対して政策を打つもので、費用対効果はマイナスになり得る要素を十分に含んでいます。

しかし！！

0円から始められるのは大きな利点ではないでしょうか？

「Phase Free」の展望

施設更新×防災×市水PR×OMOTAN の例

「Phase Free」と秦野市の魅力づくり発信

**OMOTAN名水スポット
名称が決定しました。**

**まほろばの泉
MAHOROBA NO IZUMI**

秦野駅北口広場に湧き出る水は、地下50mから汲み上げる秦野盆地の地下水。
まほろばとは「住みやすい、素晴らしい場所」を表し、秦野の玄関口にあり秦野市の山並みを背景に広がる人々の楽しみ、癒いの場となるように名称を決定しました。
作者：水野 いづみ さん（秦野市戸川）、下村 真穂 さん（秦野市曹原）、高橋 正雄 さん（秦野市下大橋）

**金剛の泉
KONGOU NO IZUMI**

田原ふるさと公園内にあるこの泉は、大聖山金剛寺付近の湧水を引いたもの。
付近には御霊塚があるなど、深実朝（法名「金剛寺院」）ゆかりの場所として名称を決定しました。
作者：藤木 隼一 さん（秦野市戸川）

**大倉の清水
OHKURA NO SHIMIZU**

秦野川につながる登山道にある水飲み場、清流「水瀬川」の巻流木を水源とし、登山者たちの喉を潤すオアシスとなるよう、名称を決定しました。
作者：手塚 真理 さん（秦野市鶴巻角）

市内3か所の名称が決定！ご応募ありがとうございました！

この名前は、「案件開催から1ヶ月」の募集期間を経て、市民参加により行われた公募により決定したものです。
令和5（2023）年1月1日
お問い合わせ：秦野市環境共生課 電話0463-62-9810

OMOTAN × 秦野市水 ありんこ

応募総数 110件

例えば・・・公営企業（上下水道局）との連携モデルです。
大倉の清水（R5.1.1に名水スポットとして名称決定！）

水道施設の前が登山道、作っている水が100%自己水という条件を活かし、
施設更新問題と併せて、整備したスポット！

非常時に、誰でも使える給水拠点の役割と、
登山者に対して市水のPRを行いながら、
水分補給の啓発（ナッジ）を設計思想としたもの

施設維持管理に必要な管理用水栓の配置を工夫
「Phase Free」にかかった費用は0円です！

民間企業は多種多様！
市内魅力づくりとの連携も十分可能では！？

RI整備済み！

おわりに

「Phase Free」いかがでしょうか？

「Phase Free」の現在は、「防災」という点で着目されておりますが、紹介のとおり、あらゆる事業や状況で誰でも考案することが可能である特徴からその需要は大きく広まるのではないかと、私たちは考えております。

- ・市内にある様々な工夫を、このまま埋めるのは勿体ない！！
- ・なにより、**0円**からでも始められる！！

今後は「Phase Free」を本格的に導入し、
秦野市独自の防災視点として市の魅力として発信しながら、
ALL秦野市のステップアップに繋げていきませんか？

おわり

～ご清聴、ありがとうございました～